

エリクソンの概念学習とウィギンズ・マクタイの逆向き
設計論を踏まえた指導計画の開発

赤塚祐哉（早稲田大学）

学習指導要領（平成29・30年度告示）に対応する単元・本時の指導計画はどうあるべきなのだろうか。本章では、従来型の指導計画との比較を通して、IB教育で採用されている教育の諸理論を参考としながら、どのような点を改善・充実されたほうがよいのかを提案

課題 1

の示どち、触
どにがわで
を確価な章
力明評す第1
能のの。第1
質・性)た。第
資関体かたの
のた(主)ら扱
徒(主)ら扱
生い力えつし
れ、とう見手
さか、かが2
示のに内がな
がるびたみに
法す学つ組分
方定のい枠十
と測徒とのが
準て生、価ン
規っ、か評イ
価よけののザ
評にわるめデ
に法りれたる
後方とさるよ
の・なてに
活動たで育計
活材っ点を設
・価な視力き
容評こな能向
内なてう・逆
習うれよ質た
学よさの資れ

課題 2

え師を分
捉教動十
が、活が
点に習動
観め学活
たたた習
っるっ学
いすいの
と成と連
、育表一
かを発た
の力やし
く能成う
い・作こ
て質題
し資課が、
成ののろ
育徒徒こ
を生生と
力に、け。
能的かい
質一般的
資一問れた。
には・さっ
う業問開か
よ授発展な
の。やらこ
どた明がて
でっ説なれ
内かるしさ
業らよ用示
授づに採に

- 「逆向き設計」論はウィギンズ (G.Wiggins) とマクタイ (J.McTighe) が提唱したカリキュラム設計の考え方である
- IBのカリキュラムは、ウィギンズ・マクタイの考え方をベースに設計されている。加えて、問いを通して学習者が物事の本質を捉える思考が身につけられるよう、エリクソン (Erickson, H.L.) の概念型カリキュラムの考え方が採用されている。
- 概念型学習とは、表層的な知識の理解や・技能の習得にとどまらず、概念 (コンセプト) の領域にまで迫っていく学習を指す。

(エリクソン、2007, pp.73-74を基に筆者作成)

1) 事実に関する問いの例

15-17世紀の大航海時代を牽引した主な要因は何か。

2) 概念的な問いの例

国家が強い経済と政治の安定を求めるのはなぜか。

3) 議論を喚起する問いの例

経済をまわすことと安定した政治運営の両立には、国家にそれなりの緊張が生じるものと考えるのが自然である。一方、こうした緊張は、健全なものと言えるのか。あなたの意見・考えを述べなさい。

問いとは何か

安齋・塩瀬(2020)より引用

	問う側	問われる側	機能
質問	答えを知っている	答えを知らない	情報を引き出すトリガー
発問	答えを知っている	答えを知らない	考えさせるためのトリガー
問い	答えを知らない	答えを知らない	創造的対話を促すトリガー

- 問い中心とした授業とは、すなわち、誰もが答えを知らない内容について、教師が授業という手段を通して学習を進行し、生徒の創造的対話を深めていく一連の教育方法であると捉えられる。
- 一方、安斎・塩瀬が説明する「問い」だけでは授業は成立しづらい。例えば、書かれている、あるいは話された内容についての理解度を確認するためには「事実発問」を行う必要がある。また、文学作品を読む際には、その作品が書かれた時代背景や社会状況を推察させたりするために「推論発問」がなされることもある。このように教師は、生徒の理解度等を観察しながら、発問を意図的に活用しながら授業を進めていくのが一般的。

本質的な問いの7つの要件

- 1) オープン・エンドであること（答えが1つではなく、正解か不正解かで判断できない問い）
- 2) 色々と考えさせられ、思考を刺激されるもの
- 3) 分析したり、類推したり、評価したりといった高次の思考力が要求されるもの
- 4) 問いにより導き出される答え（アイデア）が他の場面でも活用・転用できるもの
- 5) さらなる問いを生み出し、探究につながっていくもの
- 6) 答えに理由付けが必要になってくるもの
- 7) 何度問いに立ち戻っても、思考が繰り返されるもの

出典：マクタイ・ウィギンズ(2013, p.3)を基に筆者作成

- 安齋勇樹・塩瀬隆之. (2020) .問いのデザイン：創造的対話のファシリテーション.学芸出版社.
- 尾崎勝・西君子 (1984) 『カウンセリング・マインダー子どもの可能性をひき出す教師の基本姿勢』 東京：教育出版
- 中央教育審議会 (2016) 『幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）』参考https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/_icsFiles/afieldfile/2017/01/10/1380902_0.pdf
- 渡邊雅子.(2014).国際バカロレアにみるグローバル時代の教育内容と社会化.『教育学研究』 81(2):176-186.
- Been, S. (1975). Reading in the foreign language teaching program. TESOL Quarterly, 9, pp.233-242.
- Dang, U.M., & Dang, U.A. (2020). Oxford IB Diploma Programme: IB Theory of Knowledge Course Book. Oxford University Press.
- Dewey, J. (1933). How we think: A restatement of the relation of reflective thinking to the educative process. Heath.
- Erickson, H. L. (2007) . Concept-based curriculum and instruction for the thinking classroom. SAGE.
- Erickson, H. L., Lanning, L. A., French, R. (2020). 思考する教室をつくる概念型
- カリキュラムの理論と実践：不確実な時代を生き抜く力. (遠藤みゆき&ベアード真理子, 翻訳) . 京都：北大路書房. (Original work published 2017)
- McTighe, J., & Wiggins, G. P. (2013). Essential questions: Opening doors to student understanding. Assn for Supervision & Curriculum.
- Piaget, J. (1964). Development and learning. In R. E. Ripple & V. N. Rockcastle (Eds.), Piaget rediscovered: A report of the conference on cognitive skills and curriculum development. Cornell University, School of Education.
- Prince, M. (2004). Does active learning work? A review of the research. Journal of Engineering Education,93(3). 223–231.